

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
未来Support Nextdoor		R7年 1月 22日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	⑦			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	⑦		来所人数に対して適切な人員配置を行っている。	法令に遵守する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	⑦		フロア内はバリアフリーである	環境面への配慮を行いながら必要に応じた個別対応を引きつづき行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	⑦		日々の掃除等、チェックリストを活用している。また模様替えなども行っている。	環境整備は定期的に行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	⑦		スペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	⑦		適宜個別のケース会議や検討会議を行い、共通理解のもと支援、業務改善を行っている。	月に1回程度行っているので引き続き行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	⑦		保護者の意向は個々で把握するようにしているが全体ではできていない。	評価をもとに会議研修会を開催する予定。自己評価とは別に保護者・利用児童に対して満足度アンケートを実施していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	⑦			意見を聞き活動や支援業務に生かしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		⑦	実施していない。	現在予定はなし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	⑦		法人内で研修会を月に1回程度必ず実施している。	今後は外部講師などを検討したい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	⑦		毎月作成し、保護者へLINEにて周知をしている。	子どもにも周知できる仕組みを確立する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	⑦			アセスメントは定期的におこない計画等見直しを行っている。またneedsのずれやその時々での課題も検討会で話している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	⑦			モニタリング会議やケース会議等に参加できる環境。または周知できる環境、ツールを整える。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	⑦			閲覧しやすい場所に掲示。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	⑦			日々のアセスメントは支援記録に記載。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	⑦			個別支援計画を軸に支援提供を行いながらフィードバック、目標の確認を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	⑦			できる限り全職員の意見を反映させたいと考えている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	⑦		マンネリ化しないようファシリテーターを変えている。	大きな枠組みは固定しているが支援内容や支援の目的は日々変え工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	⑦			引き続き個別と集団のプログラムをうまく組み合わせしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	⑦			できる限り行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	⑤	②	全員そろってが難しいがLineを活用している	全員そろってできる時は行う。 継続してLineの活用は行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	⑦		連絡帳を活用して日々の活動を記録している。個別記録も残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	⑦		モニタリング会議を実施し支援計画に反映している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	⑦		ガイドラインに沿った支援を意識している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	⑦		子どもが主体となってイベント企画をしたり実施したりしている。	自己選択、自己決定の支援サポートは行っている。プログラムの中にも盛り込んでいる。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	⑦		必ず参加するようにしている	参加している。スムーズな情報提供、情報共有も意識できている。書面作成もおこなう
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	⑦			医療に関してはできる限り協力してもらっている。関係機関ともより良い連携を図りたいと考えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	⑦		学校への送迎時に活動報告をもらえる学校とそうでない学校はある。電話などを活用し連絡調整や下校時刻の共有はできている。	連携強化
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	⑤	②		状況的に難しい部分はあるが、今後必要であれば行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	⑦		卒業後の子供たちの支援も積極的に行っている	移行アセスメントや就労に向けて必要なサポートを引き続き行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	⑤	②	区主催の研修会等に参加している	地域、区単位での研修会などには参加させてもらっている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	⑥	①	児童館へお願いしたことがあるが実際難しい。 地域の子供が来れるイベントは開催している。	イベント的に地域の子供と関わることはあっても日常的にはできていなかったなので、検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	⑦			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	⑦		訪問等だけでなくLine等の活用をしている。	よく話してくださる保護者様もいますがそうでない保護者様に対しての工夫は考えていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	⑤	②	あまりニーズがなく最近はない	必要に応じて開催を検討。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	⑦		契約時にしっかり説明し同意をもらっている	引き続き丁寧な説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	⑦		面談等お知らせしている。	面談等のお知らせは行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	⑦			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	⑦		スムーズな対応ができる体制を整えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	⑥	①	参加者が少ないこともありなかなか実施に至らない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	⑦			管理職員だけでなく全職員の間でも共有、周知できる体制を整えていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	⑦		SNSやHP等で発信をしている	引き続き個人情報を保護しながら発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	⑦		鍵付き庫等で管理している。 保護者にも理解してもらっている。	セキュリティ強化はしていきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	⑦			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	⑦		1年に1度Nextdoorフェスティバルを開催し地域の方々にも参加いただいている。	今後、地域企業と行事を行えるよう計画を進めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	⑦		職員だけでなく必要に応じた訓練を利用児童も含め行っている。保護者へも周知はできている。	マニュアルをもとに訓練を実施する。 保護者に参加してもらったことはなかったので機会を設けて行きたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	⑦			マニュアルをもとに訓練を実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	⑦		アセスメント、インテーク時点でのヒアリング。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	⑦		間違って提供しないように子の専用BOXを作成し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	⑦			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	⑦			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	⑦		都度作成している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	⑦		事業所内で年に2回は研修実施している。 外部研修にも参加している。	外部研修に全職員参加できるようにしていきたい。参加できなかった職員に共有は継続して行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	⑦			